

「私は浅間山を去ったが、私から浅間山が離れることは決してなかった」

脱皮する大地・浅間山

ASAMA 長岡國人展

KUNITO NAGAOKA / WORKS 1969-2019

ながおかくにと

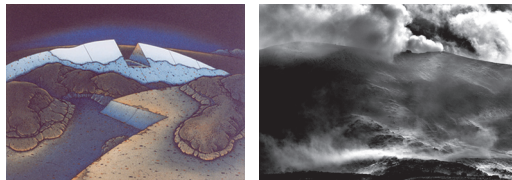
長岡國人(1940-)は、長野県南佐久郡野沢町(現・佐久市)出身の美術家です。1963年に多摩美術大学デザイン科を卒業後、3年間は東京でグラフィック・デザイナーとして活動していましたが、1966年にドイツ・西ベルリンに移住。ベルリン国立アカデミー及びベルリン国立芸術大学で学んだのち、銅版画制作を開始します。〈Iseki=遺跡〉シリーズをはじめとする銅版画作品は、ヨーロッパ各国の国際版画ビエンナーレ展でグランプリを受賞するなど、非常に高い評価を受けました。

1991年に帰国してからは、兵庫県朝来市和田山町にアトリエを構え、手漉き和紙や古和紙によるペーパーワーク(〈大地の脱皮〉〈石の脱皮〉シリーズ)を手掛けてきました。また、2001年からドイツ、チェコ、アルメニア等で断続的に実施している「拓本プロジェクト」でも、国際的に注目を集めています。

本展で紹介する長岡の50年間の仕事は多岐にわたっていますが、創作の根底には常に浅間山があったといいます。様々な自然災害が人類の生活を脅かす今日、長岡の作品は、強い実感をもって私たちの胸に迫ってきます。本展が皆様にとって、大地と人間と文化とのかかわりを再考する契機となることを願っています。



①



②



③



④



⑤



⑥

- ① Noravank/Surp Asvatsatsin 教会(アルメニア) 外壁を2人のアシスタントと共に拓本作業する長岡國人
- ② 《ASAMA Project No.2, ASAMA (I)》1980-1981年(写真:長岡徹) 個人蔵
- ③ 《石の脱皮 / Steinhäutung, Wadayama No.48》1999年 作家蔵
- ④ 《化石 / Fossilization, Earth sends SOS - VI (Book Art)》2019年 作家蔵
- ⑤ 《Noravank No.2》2012.8.28 探拓(湿拓) 作家蔵
- ⑥ 《遺跡 / ISEKI/PY I》1974年 和歌山県立近代美術館蔵

会期中のイベント

(すべて事前申込制(先着順・定員に達し次第受付終了)です。)

●申込方法: 12月1日(火)から電話(0267-67-1055)で受付

●長岡國人 アーティストトーク「大地の黙示録」

[日時] 1月9日(土) 10:00~11:00 [講師] 長岡國人
[会場] 視聴覚室 [定員] 20名(要観覧券)

●版画工房 WERK-STATT N組ワークショップ 「チョコキチョコキ・ペッタンタン」白い絵本の表紙づくり

いらなくなったものを再利用して、版画工房N組のみよさんのご指導で、「思いでの一冊」を作りましょう!

[日時] 1月10日(日) ①10:00~12:00/②13:30~15:30

[会場] 視聴覚室
[講師] 版画工房 WERK-STATT N組
(長岡國人・内藤絹子・中村真由子)

[定員] 各回6組(1組につき3名まで)
[参加費] 一人500円

[持ち物] コラージュ(持参の紙や布をのりで貼り付ける)をします。家庭で不要になった新聞・雑誌・布など、平らなものを持参してください。

このほか、自宅にあれば、絵の具セット(水を入れる小さな容器や使用済みトレイ等で絵の具を混ぜられるもの)・はさみ・のり・筆・鉛筆・色鉛筆など。



●長岡國人×堤隆 ギャラリートーク「浅間・考古学・現代美術」

[日時] 2月7日(日) 16:30~17:30 [会場] 展示室
※参加する方は16:25までにご入館ください。 [講師] 長岡國人・堤隆(浅間縄文ミュージアム館長)
16:30(開館時刻)で一旦入口を閉鎖します。 [定員] 20名(要観覧券)

交通のご案内



新幹線・電車をご利用の場合

- JR 北陸新幹線「佐久平駅」からタクシー/約10分
- JR 小海線「北中込駅」から徒歩/約15分



お車をご利用の場合

- 上信越自動車道「佐久IC」または「佐久平スマートIC(ETC専用)」から/約15分
- 中部横断自動車道「佐久中佐都IC」(佐久小諸JCT-八千穂高原IC間無料)から/約10分

佐久市立近代美術館
油井一二記念館



〒385-0011 長野県佐久市猿久保35番地5 (駒場公園内)
TEL: 0267-67-1055 / FAX: 0267-67-1068
https://www.city.saku.nagano.jp/museum/